

KAIRA LOORO

# 建築コンペティション 小学校

一等賞

€5,000 - インターンシップ - 建設

インターンシップ賞

隈研吾法律事務所、日本

SBGA | ブレンジーニ・ギラデリ、イタリア

EMBT ARCHITECTS、スペイン

陪審

KENGO KUMA (KKA)

BENEDETTA TAGLIABUE (EMBT)

AGOSTINO GHIRARDELLI (SBGA)

MANUEL AIRES MATEUS (AMA)

RAUL PANTALEO (TAM)

MPHETHI MOROJELE (MMA)

EMMANUELLE MOUREAUX

SAAD EL KABBAJ

DRISS KETTANI

MOHAMED AMINE SIANA



# 小学校

序文	3
教育と成長	4
フレームワーク	11
教育システム	14
プロジェクト:新しい小学校	18
賞	21
陪審	22
登録	25
カレンダーと締め切り	25
提出資料	26
評価基準	27
よくある質問	27
カイラ・ルーロ	28
バルオ・サロ	32
コンペティション規定	36
パートナー	40



# 序文

教育を受ける権利は、いかなる人にとっても基本的で譲渡できない権利の一つであり、世界人権宣言で確立された原則でもあります。しかし、世界中の6億人以上の子どもたちにとって、脆弱な経済、政治、健康状態、紛争の存在、自然災害、ステレオタイプ、社会文化的偏見のため、この権利は保証されていません。

サハラ以南のアフリカでは、ほとんどの学校が生徒を保護し、生徒を安心させ、生徒の潜在能力を育てることができるサービスを提供できません。

質の高い教育がなければ、子どもたちは人生の問題に対処するために必要なスキルを身に付け、自立させるための有益な仕事を見つけることができず、子どもたちに影響を与える決定に参加することができず、将来を危険にさらすことになるでしょう。

すべての子どもたちの潜在能力を保護し、育てることができる新しい学校モデルを探しています。

# 教育と成長

教育は、人々と地域社会の生活を改善するための基礎であり、人々を自給自足できるようにするために必要なツールです。国連2030アジェンダにおいて、基本的な目標の一つは、すべての子どもたちの質の高い教育を実現することです。近年、学校の入学において、世界的に大きな成果があります。基礎的な読み書き能力が大幅に向上し、初等教育における女子と男子の平等が達成されました。しかし、すべての教育レベルでこれを達成した力国はほとんどありません。しかし、今までのことだけでは十分ではなく、現在でも世界中の何百万という子どもたちが教育を受ける権利を享受していません。

発展途上国の就学率は91%に達しているが、5,700万人の子どもたちは依然として除外されており、その半数以上がサハラ以南のアフリカに住んでいます。また、増え続けるニーズに対応できる教材やインフラが不足していることも状況を悪化させています。

しかし、その他の状況では、多くの生徒が空腹で、病気で、または児童労働や家事に疲れ、学校施設が食料や健康支援を提供するための設備が整っていないことがよくあります。サハラ以南のアフリカでは、大部分の学校にトイレ、更衣室、食堂がなく、学校のインフラはコンクリート煉瓦で作られた壁や教室の連続に縮小されています。このような環境の中で、生徒たちの精神を刺激し、潜在力を十分に発揮することはもちろん、教育、生活、健康に対する権利を保護することも困難です。

教育は、分析的、テクニカル、組織的、意思決定能力を身に付けるための基本的なツールであり、認識と知識に基づいて人生の重要な決定を下すために必要な自信と決断力を強化するための基本的なツールです。教育を受けていない大人は、実際には理解できないかもしれないので、家族や地域社会全体の健康、経済、将来に影響を与える可能性のある影

響で日常の状況を解決することができます。

注記:

参加者は、トピックに関する詳細な文書とレポートを入手できます。

Ressources:

<https://www.unicef.org/>

<https://www.globalgoals.org>

<https://unric.org>

<https://unstats.un.org>

<http://www.education2030-africa.org/>

<https://www.undp.org/>

# 91

パーセント

開発途上国の初等教育への就学率は91%に達しています。

# 57

数百万

それでも、5,700万人の初等教育の子どもたちが学校に通っていませんが、その半分以上がサハラ以南のアフリカにあります。

# 1

分の4

開発途上国では、女の子の4人に1人が学校に通っていません。

# 50

パーセント

小学校に通学していない全児童の約半数が、紛争の影響を受けた地域に住んでいます。

# 103

数百万

世界中で1億300万人の若者が基本的な識字能力を欠いており、その60%以上が女性です。

# 6

分の10

10人中6人の子供と青少年が、読み書きと数学の最低限の習熟度に達していません。

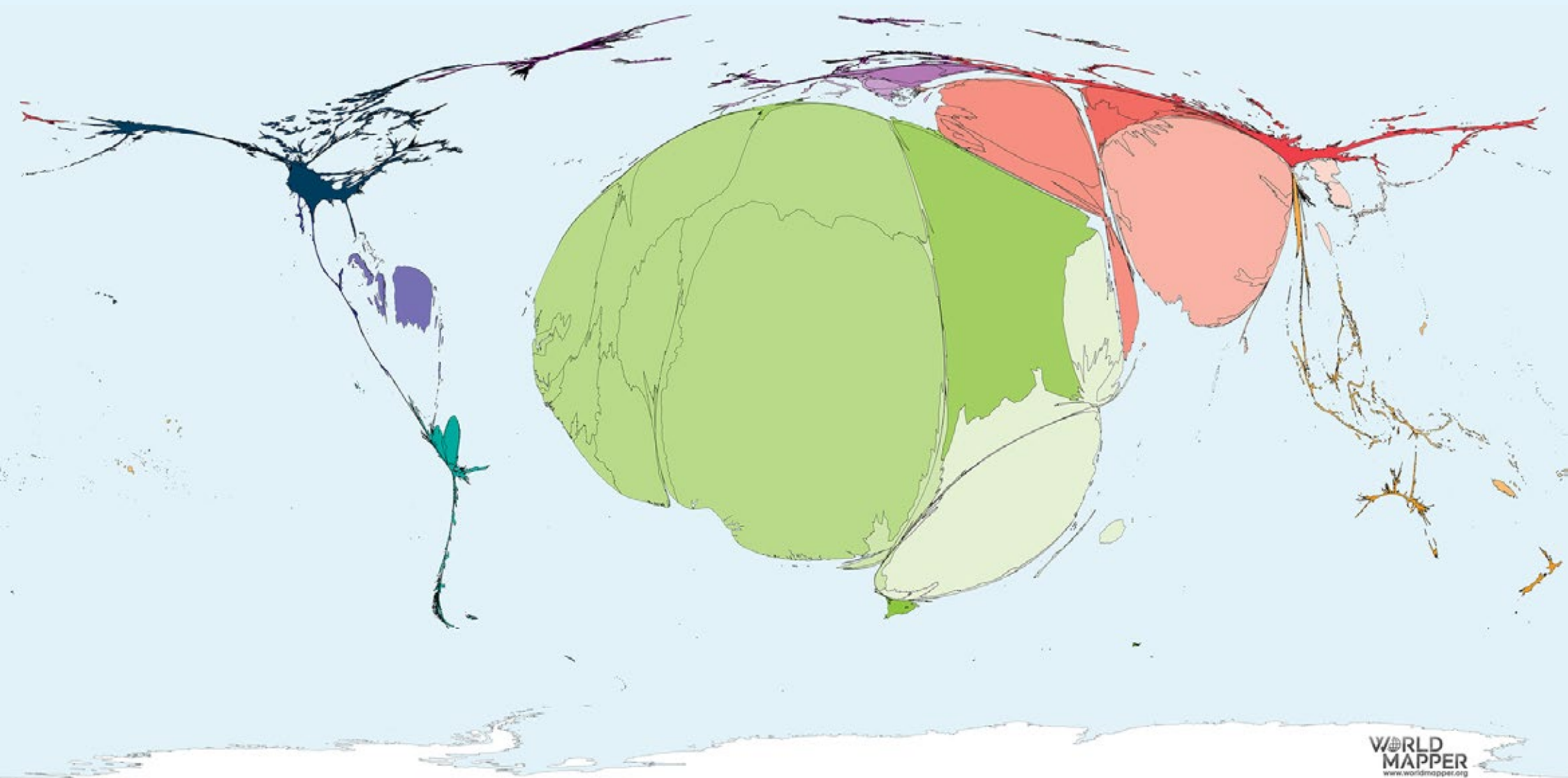


# グローバル概要

## 小学校に通っていない

領土の大きさは、初等教育を受けていない学齢人口(5歳から10歳まで)に比例します。ナイジェリア、パキスタン、スーダンは、初等教育を受けていない子どもの数が最も多い地域のリストのトップです。小学校に

通っていない5歳から10歳までの子供の割合が最も高いのはエリトリアで、2人に1人の子供しか就学しておらず、ジブチとスーダンがそれぞれ66パーセントと70パーセントで続いています。



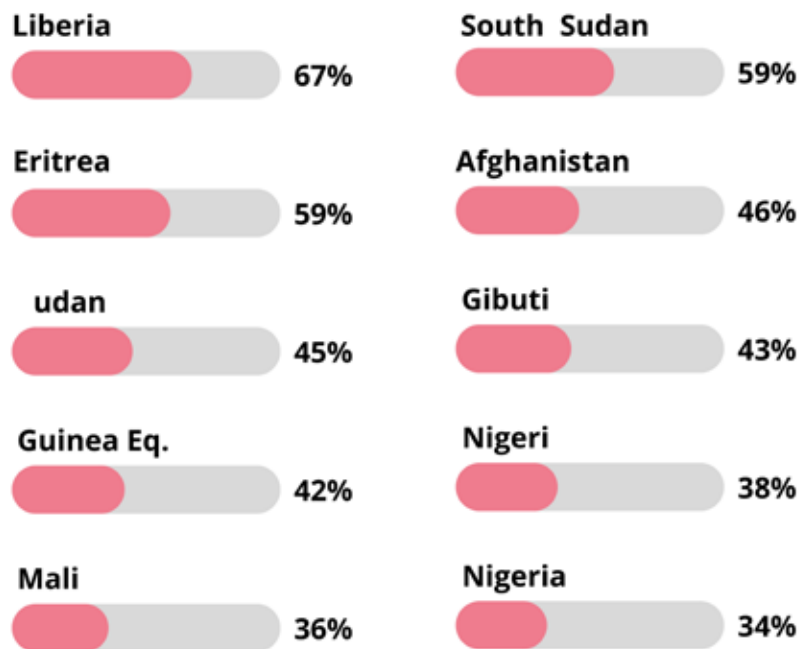
**世界の 8 億人の子供たちが、十分な衛生状態と衛生状態のない学校に通っています**



# 10カ国のランキング

## 教育が否定されている場所

リストは、数多くの戦争と地方のアンベインテでの広範な貧困のために、アフリカ大陸によって支配されています。戦争が行われている国では、教育を受けていない子供たちが児童兵として徴兵される可能性が高く、貧しい国では児童労働に雇われる可能性が高くなります。



Source: Unicef



Child labor





Temporary classroom



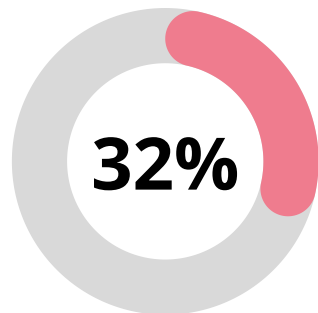
Toilette



Water stockage

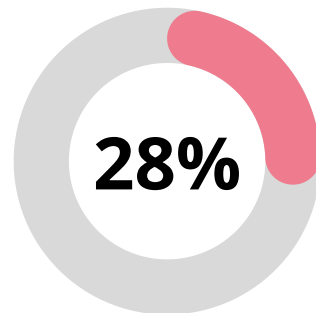
## One third of the schools in the world do not have basic services

Schools without drinking water



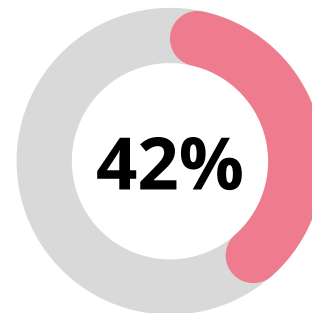
への影響  
5億4600万  
子どもたちの

Schools without bathrooms



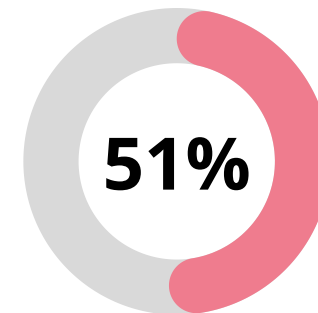
への影響  
5億3900万  
子どもたちの

Schools without sinks



への影響  
8億200万  
子どもたちの

Coverage of toilets in Sub-Saharan Africa



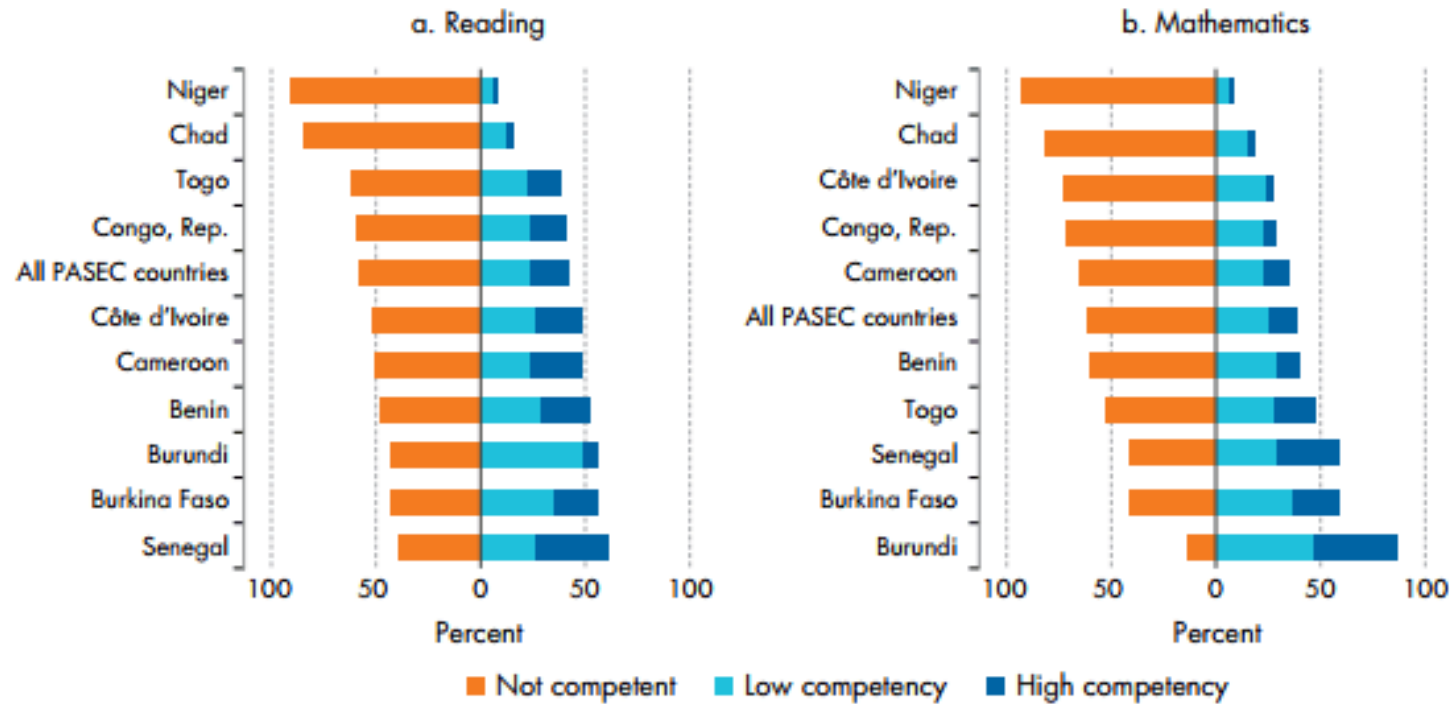
への影響  
4億5000万  
子どもたちの

# 西および中央アフリカの学生の割合

## 読解力または数学の能力が不十分である

インフラや教材の不足、政治経済の不安定さ、スタッフの不足により、特にサハラ以南のアフリカでは、多くの学生が十分な読み書きや数学のスキルを身につけておらず、仕事や私生活に影響を与えています。

キルを身につけておらず、仕事や私生活に影響を与えています。



Source: World Development Report (WDR)

# フレームワーク

## 国家的前後関係

この小学校プロジェクトは、セネガル南部の農村地域向けに設計される予定です。これはサハラ以南のアフリカ西部にある国で、大西洋、モーリタニア、マリ、ガンビア、ギニアに接しています。

全国の人口は約1,800万人で、主に主要な都市の中心地と首都ダカールに集中しています。同名の川の左水系と、ラグーンが発達している南のガンビアやカサマンスのようないくつもの小規模な川の流域には、ほとんどが平坦で、約20万km<sup>2</sup>にわたって広がっています。

この地域は、乾燥したサハラ砂漠とギニアのアフリカの湿度の高い地域との間の移行地帯、いわゆる「サヘル」にも広がっています。

人口は、環境条件が最も良いところ、沿岸帯に沿った場所、そして、ごく身近でも増加します。内部は主に、乾燥しているか半乾燥していますが、水の利用可能性が高い川沿いに希少な母集団が見られます。

首都には約260万人の住民が暮らしており、同国の都市人口の大部分を占めています。国家的に重要な他の都市の中心地では、人口規模が小規模(人口10万人~20万人)です。セネガルの人口は多くの民族で構成されており、その大多数はウォロフで、約43%です。他に広く分布している民族には、セラ族、プラー族、マンディンカ族、マンドジャク族、マンカグ族、ディオラ族、バランテ族がいます。南部は主に多様な文化が息づいており、北部ではウォロフとセラが、より広く分布しています。ウォロフ語は最も広く話されている言語であり、フランス語は公用語です。

宗教的には、人口の約95%がスンニ派イスラム教徒、4%がキリスト教

徒、1%がアニミストです。

気候は熱帯性で冬は乾季が長く、夏は湿った季節で北(約3ヶ月)から南(6~7ヶ月)まで長さが長くなります。地質形態学的な観点から見ると、国はラテライト砂質土壌が主であり、川の谷の近くの土壌は粘土砂質と粘土ロアミーです。これらの地域では稲作が行われています。

乾燥した季節(12月から4月)は、ハルマタンとして知られる高温で乾燥した風によって支配されています。年間降水量は北と南で大きく異なることがあります(ダカールでは600mm、南では1200mm)。最高気温はタンバコンダ州が48℃で最高気温に達する奥地で記録され、他の地域では季節によって平均気温が40℃の高いところから18℃の低いところまで変化します。国の最北端は砂漠気候が暑く、中央部は半乾燥気候が暑く、最南端は熱帯気候があります。

経済的には、セネガルはアフリカで最も脆弱な国の一つであり、産業やサービス分野の成長は良好であるが、主に首都周辺に集中しています。一方、農業は人口の大部分を雇用しており、特に都市化率が10%未満の農村地域で雇用されているため、主要な部門です。

## セネガルの南

ガンビアの囲いの向こうにある南部地域は、同名の川にちなんでカサマ

ンスと呼ばれ、次の3つの行政地域に分かれています。ジギンチャール、セディウ、コルダは総人口約150万人です。

農村部の平均都市化率は8%、平均貧困率は約90%で、国内で最も開発が進んでいない地域の一つです。立地は純粹に農業で、農村の村には平均1500人の住民が住んでいます。ジギンチャール、コルダ、セディウの主要な町には、それぞれ20万人、6万5,000人、3万人の人口がいます。

カサマンズの農村部では、開発不足、資源・インフラ不足、自給自足の第一の源である牧草地の活動に深刻な影響を与える気候変動により、生活の質は国内最悪の状態の一つとなっています。貧困は人口の97%で最も高く、88%の家庭が飲料水を利用できない、60%の家庭が電気を直接利用できない住宅に住み、98%の住宅が下水道を持っていない、60%の子どもが高校を卒業する前に学校を出ています。

## 理想のプロット

小学校のプロジェクトは決まったプロットがありません。その建築は南部のどの農村地域でも構想できます。したがって、都市の中心地と地域の首都は除外されます。これらの理由により、参加者は、参加を求める声に定義された特性に従って、どの農村の理想的な計画を構想することができるフレームワークが必要ではありません。



Africa / Senegal



Landscape in a valley



Mosque in rural area



Streets in rural areas

# 教育システム

国の教育は、6歳から16歳までのすべての子どもに義務付けられています。セネガルの教育システムは、就学前教育、初等教育、中等一般教育または技術職業教育、高等教育を提供しています。

これらの各レベルでは、公教育とともに、近年ますます多様化・発展している私教育もあります。

就学前教育(3~5年)では保育園と「Case de tout-petis」が最も多く、民間に属する場合があります。そのような施設の存在は、都市部や主要都市により集中しています。ダカールは国の施設の32%を所有しています。南部や極西部など、最も不利な地域では、平均的な施設数が全国の2~3%に達します。これらの施設の生徒の40%が農村地域に居住しており、衛生面や経済面で困難が生じています。

初等教育は全国で最も需要が高く、6~11歳の子どもたちが参加します。学習サイクルは、次のように6年間に分けられます。

フェーズ1: 初期コース(IC)、予備コース(CP)。

フェーズ2: 初等学校1年課程(EC1)、初等学校2年課程(EC2)。

フェーズ3: 1年生の中級コース(CM1)、2年生の中級コース(CM2)。

生徒は、初等学校の学習過程が終了すると、試験を受けて初等学校修了証(CFEE)を取得します。

国内には1万近い施設があり、そのうちの15%が民間です。施設の30%が首都圏にあります。

現在、平均加入率は86%となっています。CFEEの獲得成功率はダカールが64%で最も高く、ディウベルが48%で最も低いです。この違いは、農村地域の社会経済的な状況の貧弱さに遡ることができます。この点で、退学を決意した初等教育の子どもたちが文盲に陥る危険性は極めて高くなります。

特に、農村や周辺地域では、施設自体が、生徒の衛生的な保護を保証し、学習に最適な精神的・肉体的要素を育成するには不十分な状況であることが多いです。実際、トイレと水の利用ができるのが70%の学校のみ(ダカール最大90%、ケドグ最小35%)であり、電気を利用できるのは30%(ダカール最大90%、セディウ最小12%)、囲い壁があるのは50%(ダカール最大93%、コルダ最小20%)しかありません。

生徒は、「CFEE」を取得した後、中学校に進学して「Brevet de fin de études mediennes」(中学校の学業修了証明書)を取得でき、これにより最終的に中等教育に進んで「Baccalaureate」を取得することができます。

国内には、約2,500の中等教育と約1,000の高等教育施設があります。小学校と中学校への移行において、中退率は35%(ダカール)から60%(セディオ)です。中等教育修了生の平均60%が、一般教育または職業技術教育に進級します。最終試験はルーガ(42%)が最も高く、最も低いのがセディオ(26%)です。

## 農村部の学校

セネガルの農村部と南部では、小学校は現場で砂とセメントから生産される煉瓦、または豊かでない地域では未焼成の土の煉瓦で作られています。建物は、通常、一連の教室が平行に配置された単一構造で構築されており、すべてが外部への入り口を持っています。屋根は、断熱材のない板金が主です。窓は多くの場合、地元の鉄製か、木と板金のフレームで作られています。床が存在する場合、砂とセメントのスレッドです。多くの学校は未完成で、煉瓦が露出しています。仕上げられた場合は砂とセメントでできており、油性塗料（ペンキ）が塗布してあることはめったにありません。

給水網は、農村部ではしばしば欠落しているため、開通している学校はほとんどありません。学校の近くの井戸の水を容器に溜めたり、もしくは、近くにある共同体の汚染された井戸水を使用することが多いです。下水道がない場合のトイレとは、教室から数十メートル離れた地面に掘られた穴です。

かならずしも、すべての教室に正式な環境があるわけではありません。平均して、学校は2~3室の教室で構成されており、40人~80人の生徒がいます。

多くの学校が過密状態にあり、地域社会では、板金や藁葺きのキビや竹の缶で作られた仮設教室の設置に取り組んでいます。これらの教室は、仮設ではあるが、新しい煉瓦製の教室を建設するための資源がないため、永続的になります。

最後になりますが、屋内の庭、実験室、教室、食堂、保健室はありません。今日、参加者には地方の学校の文書・写真が送付されます。

注記:

Situation Economique et Sociale du Sénégal [セネガル経済社会理事会], Agence national Statistique du Senegal [セネガル国立統計庁]  
セネガル国民教育省



An unfinished school



Interior of a temporary classroom



School in a rural area





Interior of an elementary school



Extension of a school with temporary classes



School in precarious conditions

# プロジェクト:新しい小学校

選定過程の目的は、子どもたちの教育水準を高め、学習権を確保し、健康を保障し、生徒一人一人の潜在力を育てるのに必要な心理的・身体的・健康条件を提供できる小学校の建築モデルを選定することです。学校のコースだけでなく、クロスカリキュラムの活動ができる施設が理想的で、それは学校だけでなく地域社会でもあります。建築、形、色を通して、学生、地域、権限を持つ機関に自信を与えるモデルを作ることを目的としています。個性的で象徴的でありながら、単純にアイデンティティの場であり、すべての子どもが自分自身を見つけ、未来を作り始めることができる場所です。

このプロジェクトは人道的介入と自己構築の過程で実現可能であると考えられなければなりません。すなわち、資格のある人材がおらず、地域社会の直接の参加が必要です。したがって、次のような特定の建設要件を満たさなければなりません。

- 持続可能で自己構築的な技術を通じて容易に達成することができ、したがって、重い車両と複雑な機器を使用する必要がありません。
- 経済環境への影響を制限し、その地域の収益性を高めるために、地域で利用可能な天然材料および/またはリサイクル材料を使用すること。
- 田舎の環境に溶け込みます。

アーキテクチャは、申請者の考えに従って、次のような空間または設定を1つ以上の団体に開発する必要があります。

1. **教室**。6つの教室があり、それぞれ平均25人の生徒がいなければなら

ません。

2. **オフィス**。管理事務所と教職員会議室があるはずで

3. **研究室エリア**。学生たちのための余暇活動と実験室を構成できる柔軟な空間がなければなりません。

4. **病室**。生徒のけがや病気に対処するための環境が整います。

5. **食堂**。恵まれない生徒たちのための給食の準備と提供のための空間を設ける予定です。

6. **貯蔵**。学校の教材や備品の貯蔵室があるはずで

7. **トイレ**。学生や学校の職員のための施設が必要になります。

設計は、次の特性に準拠する必要があります。

- 前の領域の最大室内面積650m<sup>2</sup>。

- 1階のみ。したがって、高層階は許可されていないこと。

- 建築資材(土、コンクリート、木材など)の総費用は、70,000ユーロを超えてはならないこと。

- 周辺地域で利用可能な天然素材、スクラップ、リサイクル素材を優先的に使用すること。

- 持続可能で環境に優しい建設技術を促進すること。

- 熟練していないスタッフと重たい車を使用せずに、簡単に自己構築できること。

- 電気、水道、家具の設備設計は必要ないこと。

- 領土の枠組みは必要ないこと。

- 周辺エリアや道路の設計は不要です。

参加者には、プロジェクトの開発に必要な追加の資料が(登録後に)送信されます:

- 主要材料のファクトシート、価格、写真。
- 田舎の環境にある学校や家庭の画像。
- 提出書類のレイアウト。



Entry to the school

# 教育を受ける権利 それは基本的人権です



Indoor of a classroom in senegalese rural school

# 賞

## 最優秀賞

5.000€

工事

隈研吾でのインターンシップ

パートナーとの共有

展示会とイベント

本の出版

証明書

## 2等賞

2.000 €

イタリア、EMBTでのインターンシップ

パートナーとの共有

展示会とイベント

本の出版

証明書

## 3等賞

1.000 €

イタリア、SBGAでのインターンシップ

パートナーとの共有

展示会とイベント

本の出版

証明書

## 2つの佳作

展示会とイベント

本の出版

証明書

## 5つの特別な言及

展示会とイベント

本の出版

証明書

## 20人のファイナリスト

### 20トップ50

展示会とイベント

本の出版

証明書

受賞したすべてのプロジェクトは、コンテストの公式本、公式ウェブサイト、およびコンテストのソーシャルネットワークで公開されます。すべてのプロジェクトは、すべてのメディアパートナー、国際的な建築ウェブサイト、雑誌に送信されます。すべてのプロジェクトは、国際、国内、地元の機関や協会と共有されます。

# 陪審



**Kengo Kuma**

隈研吾法律事務所  
日本

1954年生まれ。1990年隈研吾総合計画事務所 (KKAA) 設立。慶應義塾大学、東京大学で教鞭をとった後、東京大学名誉教授。KKAA プロジェクトは、現在 30 か国以上で進行中です。彼は最も影響力のある現代建築家の 1 人と見なされており、持続可能なアプローチで広く認められており、環境と伝統を尊重することに専念しています。



**Benedetta Tagliabue**

EMBTアーキテクト  
スペイン

Benedetta Tagliabue は Istituto di Architettura di Venezia (IUAV) で建築を学び、現在は Enric Miralles と共同で 1994 年に設立された国際建築事務所 Miralles Tagliabue EMBT のディレクターを務めており、バルセロナ、上海、パリを拠点としています。彼女が建設した最も注目すべきプロジェクトには、エディンバラのスコットランド議会、ディアゴナル マルパーク、バルセロナのサンタ カテリーナ マーケットなどがあります。



**Agostino Ghirardelli**

SBGA | Blengini Ghirardelli  
イタリア

Agostino Ghirardelli は、1999 年に Università degli Studi di Genova で建築学の学位を取得しました。彼は、いくつかの国際企業と協力してパートナーを務め、ニューヨークとパリで働き、世界中の建設現場を監督してきました。彼は、建築および都市計画プロジェクトの研究および設計段階の両方に焦点を当てています。この目的のために、彼は公的機関と協力し、さまざまな国際機関の講師を務めました。

# 陪審



**Manuel Aires Mateus**

Aires Mateus  
ポルトガル

マヌエル・アイレス・マテウスは、1963年にリスボンで生まれました。1986年にリスボン建築学部を卒業し、1988年にスタジオアイレス・マテウスを設立したフランシスコ・アイレス・マテウスと協力しています。1986年以来、教育において、彼はいくつかの大学と協力しています。ハーバード大学デザイン大学院、コーネル大学の建築・芸術・計画学部、オスロ建築学校、リュブリャナ大学建築学部など。



**Raul Pantaleo**

TAM Associati  
イタリア

Raoul Pantaleo は、さまざまな行政機関や非営利団体のソーシャル コミュニケーションやグラフィック デザインの実践に携わっています。Raul Pantaleo は、重要な分野における社会志向のプロジェクトを専門とする「studio TAMassociati」の共同設立者の1人です。主な受賞歴：LafargeHolcim Awards Acknowledgement Prize (2017)、Aga Khan Award (2013)、Zumtobel Group Award (2014)



**Mphethe Morojele**

Mpheti Morojele Architects  
南アフリカ

Mphethi Morojele は、南アフリカのヨハネスブルグに拠点を置く、受賞歴のある建築およびデザインスタジオである MMA Design Studio の所有者であり創設者です。このプラクティスは、南アフリカで最も象徴的で文化的に重要なプロジェクトのいくつかを生み出すために協力しており、エチオピア、ウガンダ、ボツワナ、モザンビーク、レソト、ブルンジでのプロジェクトにより、大陸でのポートフォリオを拡大し続けています。

# 陪審



**Emmanuelle Moureaux**

日本

エマニュエル・ムローは東京在住のフランス人建築家兼アーティストです。東京の「emmanuelle moureaux architecture + design」の創設者兼ディレクター。2008年から東北芸術工科大学の准教授を務めるエマニュエルの研究室では、彼女が 100 colors lab と名付けたプロジェクトを通じて、色の可能性を探っています。



**Saad El Kabbaj**

モロッコ

1978年にカサブランカで生まれたサードエルカバジは、モロッコのラバトにある国立建築学校で学び、2003年に卒業しました。在学中、海外(ギリシャ、チュニジア、エジプト)で経験を積んできました。2005年にカサブランカにオフィスを開設し、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。彼は現在、ラバトのUIR大学で教鞭をとっています。



**Driss Kettani**

モロッコ

1978年にフェズで生まれた Driss Kettani は、モロッコのラバト国立建築学校で学び、2003年に卒業しました。幼少期をコートジボワールで過ごした後、1996年にモロッコに来ました。2005年にカサブランカにオフィスを構え、住宅、オフィスプロジェクト、デザインに携わる。彼は現在、ムハンマド6世工科大学で教鞭をとっています。



**Mohamed Amine Siana**

モロッコ

1979年にカサブランカで生まれたモハメドアミンSIANAは、2004年にモロッコのラバトにある国立建築学校を卒業しました。プロジェクトの種類: インテリア、住宅、健康、デザイン。彼は現在、ラバトのUIR大学で教鞭をとっています。



# 登録手続

参加者は個人または最大5名のチームで参加することができます。少なくともメンバーのうち1名は35歳以下であること(登録時)。登録料は、登録時期により下記の通り異なります。

早期登録 - €60 / 1チーム

通常登録 - €90 / 1チーム

後期登録 - €120 / 1チーム

登録手順は以下の通りです。

1. コンペティションウェブサイトの「登録」エリアにアクセスします。
2. 必須の欄にご記入の上、チームを登録し、クレジットカード、デビットカードまたはPayPalで登録料の支払いをしてください。
3. 登録手続きが完了すると、コンペティションの参加に利用するチームID(チームの識別コード)、ダウンロードおよび期日までにプロジェクトをアップロードするためのリンクが記載された登録完了のEメールがチームリーダー宛に送信されます。

ご注意:登録完了後2日以内に登録確認メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダをチェックして、info@kairalooro.com がブロックされていないか、迷惑メールと認識されていないかどうか確認してください。早めの登録とプロジェクトの提出をお勧めします。登録をもって、本コンペティションの規定を承諾したものとみなされます。

[登録フォームを開くにはここをクリック]

# 日程と期日

登録

「早期」登録は2023年1月13日から2023年2月28日(グリニッジ標準時午後11時59分)まで

「通常」登録は2023年3月1日から2023年4月9日(グリニッジ標準時午後11時59分)まで

「後期」登録は2023年4月10日から2023年5月15日(グリニッジ標準時午後11時59分)まで

設計提出期限 | 2023年6月11日(グリニッジ標準時午後11時59分)

審査員会による審査 | 2023年6月25日から2023年1月7日まで

結果発表 | 2023年7月10日

注記:

「スタンダード」、「通常」、「後期」登録の違いは、明確に設定された設計の納期に影響しません。

# 提出資料

すべての参加者は、以下のドキュメントを使用して提案を送信する必要があります。

• **n.A1 図版1部:** プロジェクトが提示されテキストと画像入りで説明された設計。

仕様: サイズ841 x 594 mm (A1)、PDF形式、300 dpi、最大容量30MB、英語、横向きレイアウト。

ファイル名: A1\_TeamID

図版には下記が記載されている必要があります。

- a. 設計コンセプト;
- b. プロジェクトの説明として十分なグラフィカルなデザイン (図面、断面図、パンフレット、建設計画)と、スケールおよびタイプ
- c. 3D完成予想図 (レンダリング、スケッチまたは模型写真)

• **n.レポート 1通:** 設計プロジェクトの解説を含むテキスト文書(英語)

規格: 英語のみ、A4サイズ PDF形式。報告書に画像を使用することは許可されていません。

ファイル名: A4\_TeamID

レポートには、下記内容が要約されている必要があります。

- a. 設計コンセプト (最大600語)
- b. 材料の使用について (最大300語)
- c. 組立/建築プロセス (最大300語)
- d. 概算の材料費 (表)

• **n.表紙 1枚:** 画像 (レンダリング、スケッチまたは模型写真) テキストなし、プロジェクトの表紙に使用するため。表紙にテキストを使用することは許可されていません。

規格: JPG形式、画像サイズ 1920x1080 pixel、300 dpi、横長、最大容量10MB、テキストなし。

ファイル名: Cover\_TeamID

チームIDとテンプレート(A1、表紙、レポート)は、登録手続き完了の確認後に、チームリーダーにeメールで送付されます。設計図上のテキストは英語のみで記載される必要があります。すべての設計図は、指定のフォーマットでなくてはなりません。チームIDを設計図に含める事は認められません。この場合の罰則は選考からの除外となります。上記にある通り、登録後に送られるチームIDコードは、ファイル名(A1, cover, report)としてのみ使用してください。指定外の形式で送付された設計は除外の対象となります(除外理由)

# 評価基準

プロジェクトは、審査員会が以下の要素を考慮して評価を行います。

## 1) 建築設計の品質

プロジェクトが規定する機能的、社会的、形式的なニーズを満たす建築デザインをさらに生み出すことができる、設計プロセスにおける独創性と刷新性。

## 2) 建設と資材

セルフビルドが可能で、地域の資源を利用した建築モデルのための建設技術、ならびに持続的で環境に優しい建築資材の選択。

## 3) 柔軟性と環境との統合

建築設計がプロジェクトが規定する様々なアクティビティに適応し、社会的・環境的状况に調和することを保証する能力。

表彰は累積的ではありません。特別賞は、トップ3賞に入賞しなかったものから審査員から最も評価が高かったプロジェクトに与えられます。佳作は、当団体および/または審査員長によって選出されます。

コンペティションに参加するプロジェクトは、審査員会に回される前に、評価基準に基づき当団体または適切な委員会によって、コンペティションの要件を満たしているか、技術的および経済的な実現性、提案の独創性、プレゼンテーションの明確性、コンペティションのテーマとの適合性、設計提案の建築の品質、および評価基準とコンペティションの要件

をクリアしているかを事前選考されることがあります。

# よくある質問

コンペティションのウェブサイトには、よくある質問への回答が掲載されています。参加者は、コンテスト期間中を通じ規定の期日までの間、以下のeメールアドレスに詳しい説明を求めるリクエストを送信することができます。info@kairalooro.com

回答は、よくある質問のセクションに英語のみで発表されます。サイトにすでに記載済みのものと同様の質問には回答しません。

# KAIRA LOORO

Kaira Loooro、人道支援団体であるBalouo Saloが主催する非営利建築イベントで、主に学生、若手の建築家、エンジニアやデザイナーを対象としています。

コンペティションの名称は、マンディング語に由来します。マンディングは、セネガル、ガンビア、ギニア、マリに広く分布する民族です。その意味は「平和の建設」または「平和のための建築」であり、言うなれば、平和に満ちた支援的環境の構築を目的としたアプローチという事になります。このイベントの目的は、国際社会における人道的課題への認識を高めると同時に、収益が寄付されて慈善プロジェクトが構築されるよう資金を増やすことにあります。

本コンペティションの目的は、才能ある若手の建築家に、国際的知名度とキャリア開発の機会を提供することでもあります。

本コンペティションは、持続可能なアプローチを促進し、気候変動と人道的危機に対する具体的な答えを提供しうる建築の追究を奨励しています。

最優秀の設計は、Balouo Saloが利益を享受する側に立って技術的・人道的・経済的な実現性を検証し、慈善プロジェクトとして評価され条件を満たす場合は建設されます。当団体は、その後、設計をより実現可能なものにするために変更する権利を有し、またいかなるケースにおいてもチームメンバーが建築コンセプトの作成者であることを認識しながら優勝者を関わらせません。設計が当団体の基準と合致しない場合は、その他の受賞設計が建設されることがあります。

建設費は、コンペティションの収益から共同出資されます。登録料が慈善寄付となるのはこの理由によります。

すべての受賞プロジェクトは、Balouo Saloに無償で寄贈されるものとし、当団体がこれを、アフリカの農村コミュニティの開発に従事する他の組織、パートナー機関または省庁に建設、シェア、または寄付することもあります。

本コンペティションは非営利目的であり、収益はすべて慈善活動に寄付されます。





Winner of Kaira Loro 2020 - Project by Aleksandra Wróbel, Agnieszka Witaszek, Kamil Owczarek from Poland



Winner of Kaira Loro 2019 - Project by Changze Cai from China



# BALOUO SALO

Balouo Saloは、社会的緊急事態の解決を目的とする独立した慈善団体であり、発展途上国の恵まれない地域の生活状況の改善に貢献し、緊急事態、気候変動、人権問題に関する国際社会の認識を高めることを目的としています。「Balouo Salo」という言葉は、組織が介入する地域の大多数の民族であるマンディンカ語で、セネガル南部のある地域の村長によって選ばれました。これは「人生へのかけ橋」を意味します。

この組織の主な人道活動は以下の通りです。

- 健康上のリスクを制限するために無料で浄化水を提供する浄化プラントを備えたダム、井戸、ボーリング孔などのインフラを構築し、飲料水へのアクセスを促進する。
- 施設やインフラの整備、医療用品の寄贈、保健関係者や地域社会の育成による公衆衛生の向上。
- 学校の建設または改修、生徒および教職員の養成、学校資料および物品の寄贈による学校システム改善事業を通じて教育権を保護すること。
- 人権、差別、不平等に関するコミュニケーションと訓練活動を行い、正義と平等な権利に基づく社会を作ることを目指す。

会議やセミナーによる活動やプロジェクトに地域や国際社会を巻き込み、建設過程でも意識や社会的責任を生み出すことです。

すべてのBalouo Saloプロジェクトは、最終的な自給自足の目標を達成するために、受益者コミュニティの直接的な参加を得て開発・実施され、「Kaira Looro」をはじめとする民間の寄付や募金イベントによって完全に資金調達されています。

画像:

Balouo Saloの人道プロジェクト - [www.balouosaloo.com](http://www.balouosaloo.com)









# コンペティション規定

## 1. 応募資格

1.1. 「カイラ・ルーロ」コンペティションは、人道的プロジェクトを支援する「Balouo Salo」アソシエーション主催の募金イベントです。

1.2. 本コンペティションには、希望する方どなたでも参加できます。

1.3. 本コンペティションは「アイデアのコンテスト」であり、イタリア共和国大統領令第430/2001号第6条に規定される賞品イベントの対象ではありません。

1.4. 各参加者は、登録時に18歳から35歳であることが、有効な身分証明書より確認できなければなりません。

1.5. 全参加者の個人情報、政令第196/03号に基づく法令に従って、この募集に関する活動の目的においてのみ取り扱われます。個人情報の取り扱いに対するいかなる拒否も、このコンペティション募集の参加への妨げとなります。

1.6. 「Balouo Salo」アソシエーションは、現行のプライバシー法において、身分証明書のコピーを請求し、参加者が提供する情報を検証する権利があります。

1.7. 参加者は、提示する情報の真正性および正確性に全責任を負うものとし、ます。「Balouo Salo」アソシエーションは、この点に関していかなる責任も負いません。

1.8. 本コンペティションの登録時に、全参加者は、発表および規則に同

意したものとみなされます。

1.9. この規則により生じたあらゆる争議解決の管轄地は、イタリアのカターニアとなります。

## 2. 応募条件

2.1. 「カイラ・ルーロ」コンペティションの参加登録は、個人でもチームでも可能です。

2.2. チーム参加の場合は、最大5名まで登録可能で、チームメンバーのうち少なくとも1名は、登録時に35歳以下でなくてはなりません。チームが定めたチームリーダーは、必要に応じて他のメンバーがその役割を担う場合を除いて、「カイラ・ルーロ」コンペティション主催者と直接コンタクトする権利を有する唯一のメンバーとなります。

2.3. チーム登録後は、証明できる健康上の理由を除き、構成メンバーを変更することはできません。

2.4. 参加者は、申請の上「Balouo Salo」アソシエーションから事前許可を得ない限りは、当アソシエーションが提供するコンペティション資料を、プロジェクト開発以外の目的に使用することはできません。

2.5. 参加者は、受賞者リスト発表の前に自身のプロジェクトに関する資料を公開することはできません。

2.6. これらの規定を受諾することによって、参加者は、他の参加者および「Balouo Salo」アソシエーションに対する忠誠と公正に基づいて行動することに同意したものとします。

2.7. 本コンペティションへの参加によって、参加者は、他の参加者および組織者に対する差別的および/または人種差別的態度や侮辱行為へ

<sup>1</sup> 条の下イタリア共和国大統領令第430/2001号第6条 a) に基づき、「カイラ・ルーロ コンペティション」は、その目的が、商業・産業分野のプロジェクトまたは研究の発表であるため賞品コンペティションとはみなされません。選考作品の作成者への賞の授与は、成し遂げた活動や仕事および熱心な取り組みが認識される助けとなり、また公共の利益への刺激としても役立ちます。

の関与を慎むものとしします。参加者は、参加者および/または「Balouo Salo」アソシエーションのイメージを損なうようないかなる行為も慎む義務があります。こうした原則に対する違反は、管轄サイト/フォーラムで取り扱われます。

### 3. 参加除外条項

下記プロジェクトは、「カイラ・ルーロ」コンペティションの参加から除外されます。

- 3.1. 英語以外の言語で提出されたプロジェクト。
- 3.2. 参加者の識別情報を含むプロジェクト。
- 3.3. 不完全または準拠していない提出物に基づくプロジェクト。コンペティションの募集要項に準拠していない名称のファイルが1つあるだけでも、提出したプロジェクトが除外される原因になります。
- 3.4. コンペティションの募集要項に明記された提出期限を過ぎてアップロードされた提出物に基づくプロジェクト。
- 3.5. 登録時に18歳から35歳までのメンバーが1名も含まれていないチームが提出したプロジェクト。
- 3.6. 受賞者リストの発表前に公表されたプロジェクト。
- 3.7. 参加者独自のアイデアの成果とみなされないプロジェクト。
- 3.8. **コンペティション募集要項の規定と条件のいずれかを満たさないプロジェクト。**

### 4. 登録料

- 4.1. 登録料はすべての登録プロジェクトに適用されます。
- 4.2. 複数のプロジェクトを提案することができます。提出する各プロジェクトにはそれぞれ異なるチームリーダーを任命する必要があります。
- 4.3. 当イニシアチブの人道的な目的、並びに登録料が全額「Balouo Salo」アソシエーションに寄付されることを考慮し、コンペティションの

結果如何に関わらず登録料は返金されません。

- 4.4. いかなる場合に置いても、登録料は返金されません。

### 5. コンテスト参加者と予備選考

- 5.1. 主催者は、コンペティションの正しいまたはより良い進行を図る目的で、提出期限を変更することがあります。
- 5.2. 「Balouo Salo」アソシエーションは、サーバー関連のいかなるトラブルについても責任を負いません。従って、参加者はコンペティションの募集要項に定められた期日前に余裕を持って参加登録とプロジェクトのアップロードを行うよう求められます。
- 5.3. 必要とみなされた場合、「Balouo Salo」アソシエーションは、2つの要素を考慮して参加プロジェクトの予備選考を行うことがあります。第一に、コンペティション募集要項の「評価基準」セクションに記載の評価基準。第二に、「カイラ・ルーロ」コンペティションおよび「Balouo Salo」アソシエーションの人道的な目的の遵守です。この予備選考は、「Balouo Salo」アソシエーションのメンバーまたはその委任を受けた委員会によって実施されます。

### 6. 審査員会

- 6.1. 審査員会と「Balouo Salo」アソシエーションの決定は最終的なものであり、申し立ての権利はありません。
- 6.2. 審査員会のメンバーは、人道的な目的に照らしあわせ、自主的に「Balouo Salo」アソシエーションのためにその役割を遂行します。「Balouo Salo」アソシエーションは、そのメンバーと「カイラ・ルーロ」コンペティション審査員会メンバーの道徳的、またプロフェッショナルとしてのイメージを保護する目的とした運営を図ります。

### 7. 賞

7.1. 個人またはチームとしての参加であるかに関わらず、授与される賞は1つです。賞には銀行手数料と税金が含まれます。チーム参加の場合、賞はチームリーダーもしくはチームが選んだ代表者に授与されます。

7.2. 受賞者には「Balouo Salo」アソシエーションの活動目的に必要な追加書類の提出が求められます。

7.3. 選ばれたプロジェクトは、コンペティションのチャンネルとオフィシャルブックで公示され、関連のメディアチャンネルで宣伝が行われます。受賞したプロジェクトの画像、図面およびテキストは、当アソシエーションの自由裁量権に帰属します。受賞したプロジェクトは、「Balouo Salo」アソシエーションに寄贈されます。従って、アソシエーションは、手段、時間、スペースを問わずどのようなチャンネルを通じてであれ、プロジェクトを利用、複製する権利を得ることになります。

7.4. 「Balouo Salo」アソシエーションが受賞プロジェクトの実際の施工を決定した場合、アソシエーションはプロジェクトの技術的実現性と経済的持続性を改善するために、変更と調整を行う権利があります。いかなる場合においても、「Balouo Salo」アソシエーションは受賞チームまたは第三者に対し、プロジェクトの最終的な実現について義務を負うことはありません。

7.5. 最優秀プロジェクトまたはその他の受賞プロジェクトの実現は、受賞チームのリーダーに通達されます。

7.6. **建築設計コンセプトの作者の権利は、不可侵の権利として常に尊重されます。**

## 8. インターンシップ賞

8.1. 建築設計事務所での「インターンシップ賞」の継続期間、方法および時期は、事務所側の都合によります。受入先の事務所は、学歴および/または職歴要件の確認のため、受賞チームの履歴書、ポートフォリオ、面

接を要求することがあります。インターンシップを開始するには面接に合格することが必須条件となります。この選考段階で不合格となった場合、「Balouo Salo」アソシエーションは責任を負いません。

8.2. 旅費は受賞者の責任となります。この賞をプロジェクトチーム以外の者に移譲することはできません。

8.3. インターンシップは、コンペティションの結果発表から1年以内に実施されなくてはなりません。旅費は受賞者の負担となります。

## 9. 知的財産

9.1. 提出プロジェクトは、新規かつ参加者のアイデアによる独自の成果である必要があります。提出後、プロジェクトは「Balouo Salo」アソシエーションからそのように認識され、アソシエーションは第三者に対する責任を免除されます。

9.2. 各受賞プロジェクトの知的財産(建築設計コンセプトのみ言及)は、チームメンバー全員に均等に帰属するものとします。

9.3. 「Balouo Salo」アソシエーションは、受賞プロジェクトに対する剽窃行為の申し立てまたは報告があった場合に、要項を満たさないプロジェクトを査定し除外する権利を保持しています。

## 10. 免責条項

「カイラ・ルーロ」コンペティションの主催者、「Balouo Salo」アソシエーションのメンバー並びに審査員会のメンバーは、下記の場合において責任を免除されます。

10.1. 参加者による誤ったまたは不正確な情報の使用。

10.2. 参加者の、他の参加者または第三者に対する暴力的、人種差別的または軽蔑的な態度。

10.3. 参加者による剽窃行為および/または著作権条項の侵害。

10.4. 当イニシアチブの倫理に反する行為および/または「Balouo Salo」

アソシエーションの人道的イメージを阻害する行為、ならびに本コンペティションが支援する人道的プロジェクトの利益享受者に有形・無形のダメージを与える行動。

10.5. 「Balouo Salo」アソシエーションは、現行規則第10条記載の違反について、該当管轄に損害に対する訴訟を起こす権利を保有しています。

このドキュメントのすべてのテキストと画像は、「Balouo Salo による著作権」によって保護されているため、永続的または一時的な複製は禁止されています。

# 陪審

KKAA  
KENGO KUMA & ASSOCIATES

sbga | BLENGINI  
GHIRARDELLI

EMBT

 TAM associati

 MMA  
DESIGN  
STUDIO

Aires  
Mateus  
e Associados

em  


 SAAD EL KABBAJ  
ARCHITECTE

إدریس کتانی مهندس معماري  
DRISS KETTANI ARCHITECTE

MOHAMED  
AMINE SIANA  
ARCHITECTE



# メディアパートナー

PLATFORM

archilovers®

CASABELLA

W World  
Architecture  
Community

T Tectónica

AMAZING  
ARCHITECTURE

archiportale®

PROJETO

e-architect

# メディアパートナー





HUMANITARIAN ORGANIZATION  
**BALOUO SALO**

[www.balouosalo.com](http://www.balouosalo.com)



[www.kairaloro.com](http://www.kairaloro.com)